

令和8年7月24日

事業報告

講座名	山口ひとものがたりセミナー第2回（祝！ユネスコ世界ジオパーク認定「白」「黒」「赤」でたどる Mine 秋吉台ジオパークの大地の物語と人々の暮らし） （講師：美祢市長登銅山文化交流館館長 椿 徹 氏）
日時・場所	令和8年7月18日（土）10：30～12：00 研修室101
参加者数	75名

1 概要

講師：椿 徹 氏（美祢市長登銅山文化交流館館長）

演題：「Mine 秋吉台ジオパークから紐解く「赤」のひみつ」

講師の椿氏は元小学校教員で、退職までの間には、山口県埋蔵文化財センターにも勤務されていた。退職後、2020年より美祢市長登銅山文化交流館に特別専門員として着任され、4年前より館長として、美祢市の「赤」、銅にまつわることを始めとする、古代から続く地域の歴史や文化を、子どもから大人まで、さまざまな年齢の方々へ伝える取り組みをされている。

今回は何億年も前の地球の活動から始まった、「白」「黒」「赤」にそれぞれ象徴される美祢市の物語のうちの、「赤」に焦点をあててお話いただいた。

まずはジオパークとは何かについての復習から始まり、銅とは何か、どういう種類があるのかなど、基本的なことから教えていただいた。その後、具体的に銅はどのようにできるのか、またどのように利用されていたのか等について教えていただいた。

その他、長登の銅を使用した奈良の大仏についてや、長登に関連した出土品についてなど、歴史にも触れていただき、大変興味深いお話を聴くことができた。

2 写真

